

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したようになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム憩いの里みずなみ
(ユニット名)	ききょう
所在地 (県・市町村名)	岐阜県瑞浪市西小田町3-122
記入者名 (管理者)	堀部 真弓
記入日	平成 19年 5月 11日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている 地域ボランティアの方との交流(畑仕事、草むしり、会食会、行事)	○	運営推進会議の定期的な開催
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる ケア会議、コミュニケーションを図る。	○	管理者がユニットの業務にはいる。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる 御家族に月1回状況報告をする。常に報告や連絡をとる	○	地域行事に参加(運動会、おまつり)
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている 挨拶に勤める。	○	地域奉仕に参加
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている 自治会活動を把握できておらず、運動会のみ参加している。	○	老人会や子ども会との交流を積極的に行いたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>自治会活動を把握できておらず、老人会との交流がない</p>	○	畑の収穫物をおすそわけする。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>自分の施設の不足している部分の認識をたかめたい。</p>	○	第三者の意見を大切にする。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> <p>気軽に参加していただけるよう計画する。</p>	○	施設と地域を近づけて行きたい
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>分からないことは相談して市町村と近づけるようつとめたい。</p>	○	市町村にもっと相談し質のアップを図りたい
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> <p>一部のものしか学んで折らず今後広く認識をしていきたい。</p>	○	カンファレンス等で勉強会をおこなう。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> <p>法令の認識は低いが虐待に対する注意は払い防止に心がけている</p>	○	今後見過しているところはないかチェックしていきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約に携わったことがなく今後行いたいと考えている。</p>	<p>○</p> <p>信頼関係を築き、十分納得していただけるように説明できるようにする。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご利用者と、コミュニケーションを図り、信頼関係の構築につとめている。苦情窓口を設け提示している。</p>	<p>○</p> <p>ご利用者と会話誌、信頼関係を築くよう努めている</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回状況報告し、おこずかいちょうとお預かり現金残高の確認をしていただいている。</p>	<p>○</p> <p>職員の移動や新人職員についてはそのつど勤務にあわせて報告している。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族と信頼関係が築けるよう報告連絡を密に行う。苦情窓口を設け提示している。</p>	<p>○</p> <p>行事の御家族参加のお誘いをしていく。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回カンファレンスを行い、会社上層部からの通達の報告をし、職員の意見や提案を聞く。</p>	<p>○</p> <p>意見や提案を反映できるよう管理者会議等で生かして生きたいと思っている。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>事前に職員間で調整できるよう声かけし、快く変更してくれています。</p>	<p>○</p> <p>できる限り時間外にならないように工夫していきたい。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職を防ぐよう相談に乗り、働きやすい職場になるよう工夫している。</p>	<p>○</p> <p>一人ひとりの職員を大切に思い楽しんで働ける職場になるよう意見の尊重をしている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<input type="checkbox"/> 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な研修の計画がたてられています	<input type="checkbox"/> 今後も教育に力を入れられるよう、研修委員会を立ちあげている。
20	<input type="checkbox"/> 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流はほとんどなく、今後の課題だと認識されている。	<input type="checkbox"/> ホームの管理者や、職員により積極的な働きかけができるよう必要な情報をもらう。
21	<input type="checkbox"/> 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	月1回の管理者会議や、ホーム長会議で意見をすいあげ、必要な対応してくれています。	<input type="checkbox"/> 社内研修を通じて、職員の思いを聴いてくれています。会社のヘルプデスクで直接職員の生のこえを聴くシステムが始まりました。
22	<input type="checkbox"/> 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員を短期間で評価することなく長いスパンで見守ってくれています。	<input type="checkbox"/> 面談を行い一人ひとりの評価をきちんとしてくれています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<input type="checkbox"/> 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	できるだけ声かけ、不安の軽減をはかり、希望をきいています。	<input type="checkbox"/> まだご利用以前の方との直接面談は経験がなく、今後できるだけ受け止められるように努めたいと思います。
24	<input type="checkbox"/> 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	受付に見えた御家族の思いをお聞きし、必ず記録に残しています。	<input type="checkbox"/> まだ相談から利用にいたるケースがなく、今後できうる限り受け止められるように、面談技術も学びます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その人の立場に立ち考えていきたいと思います。	○	必要なサービスを提供できるような対応に努めたいと思います。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	何事においても相談し、御家族や御利用者に納得していただけるように、職員全員で話し合い工夫しています。		ご利用以前に何度も面談し、より良い状態をご利用していただけるようにしたいと思います。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	御利用者とのコミュニケーションを大切に、一緒になって有意義な一日が過ごせるように努めています。	○	全職員が御利用者の立場に立ち物事を判断して、その人らしさを失うことのないかわりをもっていきたいとおもっています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御利用者を取り巻くすべての御家族に信頼していただけるように、常に挨拶や声かけに心がけています。	○	今後家族会の開催もできるようにしていきたいとおもいます。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御利用者の情報をできるだけ得て状況に応じた対応に努めたいと思っています。	○	得られた情報はすべての職員が共有できるようにし、統一した対応に努めたいと思います。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの場所へのドライブや会話の中に話題として取り入れています。	○	家族の思いも踏まえて、外泊や外出をしていただいております。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクや行事など御利用者同士のコミュニケーションの場を多くうけています。	○	御利用者同士の良い関係が保てるように職員が配慮していきたいと思っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご利用時のお写真等思い出の品を御家族に送っています。別の施設に行かれて後の様子を尋ねています。		しばらくの間はずけたいとおもいます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今の御利用者の思いを表出できるように声かけしています。	○	御利用者の立場に立って物事を考えている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族や御利用者から情報をできるだけ得て、より良いサービスができるように努めています。	○	より多くの情報を得られるように御家族も含めたかかわりを深めていきたいと思っています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	残存機能を生かしたかかわりに努め、機能訓練目的のレクや体操をとりいれています。	○	介護員、看護婦、ケアマネなど全職員の観察力を高めていきたいと思っています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	御利用者、御家族との話し合いはそのつど行い、職員間の意見も交換し、訪問マッサージ、委託医師などと相談しつつケアしています。が、介護計画になかなか反映できておりません。	○	ケアカンを行い今後介護計画に反映させていきたいと思っています。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化が生じたときケアの見直しは行っておりますが、新たな計画として立てられておりません。	○	記録として残せるよう評価修正していきたいと思っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実践的に見直しはそのつど行っておりますが、介護計画に生かせておりません。	○	今後実践に伴い計画の修正を掛けて生きたいと思います。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	認知症対応型共同生活介護の多機能性とは何を指しているのかが分かりません。どうお答えすればよいのでしょうか。		どうおこたえすればよいのでしょうか。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議の開催や、消防訓練、ボランティアの方々の行事参加を計画や実施しております。	○	地域の老人会との交流も図りたいと思っています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	福祉用具、訪問リハのみですが相談や話し合いは行っております。	○	今後同業者の方々などと意見交換情報収集ができるようにしていきたいと思っています。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの交流はあまりなく、認定調査時にお話する程度です。	○	今後もっと交流を図りたいと思います。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御利用者や御家族と医師との橋渡しや信頼関係の構築を図るよう努めております。	○	今後も信頼関係を保ちつづけるよう努めたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	<p>今後もそのつど対応していきたいと思います。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	<p>今後、看護的な勉強会も開催していきたいと思います。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	<p>今後も継続していきたいと思います。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>早い段階で話し合いの機会を持ちたいと思います。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>早い段階で話し合いの機会を持ちたいと思います。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	<p>今後御利用者や御家族に負担のかからないように関わっていききたいと思います。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声かけに配慮し信頼関係の築ける関係を保っていきたいと思います。	○ 情報の開示の意味を理解しつつ、事実のみを記録し、思い込みのない表現をしていきたいと思います。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	御利用者の思いを優先し、御利用者の立場に立った支援を継続していきたいと思います。	○ 御利用者や御家族の立場で考えて支援をつづけたいと思います。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者の思いを踏まえつつ、協働作業を一緒におこなっております。	○ 残存機能を生かしつつ、機能訓練につながる体操やレクを今後も工夫していきたいと思います。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	御利用者の行きつけの店は御家族でお願いし、希望者の方には訪問理容にきてもらっております。	○ 着替えは御利用者の好みを確認し、一緒に準備しています。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	御利用者とともに準備し、食事していますが、かたづけは簡単なことのみ一緒に行っております。	○ 今後は声かけを多くしともに行いたいと思います。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒を好まれる方は少なく夏場のビールの提供のみです。おやつは、状態に合わせたものを一緒に手作りしています。タバコは、必ず職員が付き添いすっていただいております。	○ 体重の増加や疾患を踏まえた対応をつづけたいとおもいます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排便パターンを調べできるだけ下剤を使用せず、繊維質を多く取り入れ、水分がしっかり取れるように、工夫しています。コーヒーや、ココア、ポカリスエットなど	○	起き掛けのコップ1杯の水の摂取を習慣つけていきたいと思います。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	できるだけ希望に沿うようにしていますが、御利用者間での不満が生じないように配慮しています。	○	御利用者同士の不満が生じないように工夫していきたいと思います。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	体調をふまえつつ、昼間の休息時は離床を促す声かけをし、昼夜逆転をなくすようつとめております。	○	気持ちのよいシーツの提供や布団干しなど定期的に継続し、又、昼間の活動性を高める工夫も行って生きたいと思っています。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事の役割や、気晴らしの散歩、買い物などに誘うなどおこなっております。	○	御利用者一人ひとりに合った役割や、張り合いを持っていただくように務めたいと思います。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分でお賽銭をあげたり、買い物をする機会を増やしております。	○	地域の中で生活している実感のわく工夫をしていきたいと思っています。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気の悪い日はなかなか御利用者の外出ができず、御利用者負担のかからないような工夫が必要だと思っております。	○	足元の不安のない外出意欲のわく工夫をしたいと思っています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お天気の良い日にはできるだけドライブやお出かけをしています。	○	ご家族とともに出かける機会がなく、今後検討し、実現していきたいと思っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時は御家族の確認をとりつつおこなっております。	○	季節の便りを御利用者から御家族へ出せるような支援も行っていくつもりです。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ゆっくりと話ができるよう居室で一緒にくつろいでいただいております。	○	家族会を計画し開催していきたいと思っております。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営理念にも掲げてあり、職員も抑制せず安全に留意しております。	○	新しい職員に対しても勉強会をしていきたいとおもっております。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自動扉のリモコンは事務所前におき誰でもすぐに使用できる状態になっております。	○	夏場に玄関を開放し水を御利用者どまいたり夕涼みをしたいと思っております。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に御利用者の所在を明確にするよう職員同士の声かけをして安全に対する配慮をおこなっております。	○	勤務しているすべての職員が御利用者全員の所在を把握できるように努めたいと思っております。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物品は必ず職員とともに使用していただき過剰にならないよう安全に努めております。	○	見守り声かけを徹底し、危険の防止に努めたいと思っております。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止のためのリスクアセスメントをし、話し合い検討しつつ、より良い方法を工夫し、事故防止に留意しております。	○	職員全員が危険に対してのきずきを深めてもらう様、ヒヤリハットの記録の習慣づけをはずけたいと思っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	カンファレンスで簡単な対処法は勉強会を行ったが、本格的な救急法の講習を施設で行っていただけるように検討していきたいと考えております。	○	今後定期的に救急法の講習を受け実践に備えたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	市町村の災害マップを確認し、運営推進会議に働きかけを行いたいと思います。	○	定期的な避難訓練の開催を行っていききたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	想定できるリスクに関しては、事前に御家族と話し合い、工夫して自由で安全な暮らしの確保に努めております。	○	今後もそのつどつづけていききたいと思います。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルサインの測定をし、体調の変化に早急に対応しテイ増す。御家族に必ず相談報告しております。	○	早期に異常の発見が点できるように観察点の勉強会も行いたいと思います。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師より職員全員に薬の効果、副作用、注意事項などを申し送り、何度も確認をし誤薬の防止に努めております。看護師は、疑問に対し医師や、薬局の薬剤師と連携を取り細心の注意を払っております	○	今後薬剤師の方からの薬の勉強会の開催も検討しております。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	できるだけ下剤を使用せず、繊維質や水分補給に留意し、活動性を高めるレクや体操も取り入れ、入浴時の腹部マッサージも行っております。	○	起き掛けのコップ1杯の水の摂取を習慣つけていききたいと思います。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行い、必ず職員が付き添い必要な支援をしています。	○	今後も継続していききたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後、摂取量や水分量のチェックをし、記録に残しております。栄養士さんの献立や食材サービスの献立を参考にし、栄養バランスと好みを考え食べ切れる量も踏まえて考えております。	○	施設の畑の野菜を収穫し、今後も食卓に彩を添えていきたいと思ひます。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	流行の兆しがあると本部より対応方法が連絡されてきており、すぐに各ユニットに配信しております。又、口頭もう見送りも行っております。	○	感染症の勉強会を行っていききたいと思ひます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器乾燥機を用い、調理器具や食器の衛生を保ち、ふきんや手拭は塩素系の漂白剤を用いて洗い、御利用者は手洗いの声かけとペーパータオルの使用を励行しております。	○	食中毒の危険な季節はできるだけさっと湯通しをし、今後も注意していききたいと思ひます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前の花壇に季節の花を植え、歓迎の意を表す工夫をしております。	○	挨拶を忘れず行い明るい雰囲気施設の施設を目指していききたいと思ひます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内を季節感の感じられる花や置物を工夫し、ゆず湯、菖蒲湯でお風呂に楽しみを持たせております。	○	今後も季節感のある、居心地の良い工夫をしていききたいと思ひます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にソファを置き、居室内も座って話せる空間をつくっております。居間にもソファがありゆったりと過ごしていただいております。玄関の中や外にイスを置き外の花壇が眺められるようにし、そこでコーヒーを飲まれたりくつろぐ空間をつくっております。	○	外でくつろぐスペースを増やしていききたいと考えております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	今後もくつろげる空間の維持に努めたいと思います。
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の上みがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	○	必要時御家族に確認し、寝具の洗濯も行っていきたいと思っています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	転倒などの危険を察知し安全な環境を整え、不安なく過ごしていただけるよう努めたいと思います。
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	ご自分でできることはしていただきつつ、安全に配慮したかわりを持ちつづけたいとおもいます。
87	<p>○建物の外周リや空間の活用</p> <p>建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	○	外でくつろぐスペースを増やしていきたいと考えております。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

とにかく、毎日笑顔で楽しく過ごした頂けるように御利用者主体で物事を考えております。ご高齢であっても一人の人間として最後までその人らしくすごしていただきたい

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム憩いの里みずなみ
(ユニット名)	れんげ
所在地 (県・市町村名)	瑞浪市西小田町3-122
記入者名 (管理者)	堀部真弓
記入日	平成 19 年 5 月 12 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<input type="checkbox"/>	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	○	運営推進会議の開催
<input type="checkbox"/>	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	○	管理者がユニットの業務にはいる。
<input type="checkbox"/>	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	○	地域行事に参加(運動会、おまつり)
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/>	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	○	今後地域の奉仕活動にも参加するようにしたいと思います。
<input type="checkbox"/>	<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	○	老人会や子ども会との交流を背曲的に行いたいと思っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>自治会活動を把握しておらず、老人会との交流はありません。</p>	○	畑の収穫物をおすそ分けするなど今後交流を図りたいと思います。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>自分の施設の足りないところを知り改善していきたい。</p>	○	第三者の厳しいご意見を真摯にうけとめ
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> <p>気軽に参加していただけるよう行事に参加の形で計画しています。</p>	○	地域に溶け込んでいけるよう工夫していきたいと思います。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>分からないことは相談して市町村と地被けるよう努めていきたいと思っています</p>	○	市町村に相談しつつ、質のアップを図ってきたいと思っています。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> <p>一部の職員しか学んでおらず勉強会をおこなってきたいとおもいます。</p>	○	カンファレンス等で勉強会を行ってきたいと思っています。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> <p>法令に対する認識は低いですが虐待に対する注意は払い防止しています。</p>	○	何が虐待に値するのか考えていけるようにし、法令についても勉強会をおこなってきたいとおもいます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>今まで契約に携わったことがないが、今後細心の注意を払い納得できるよう説明していきたいと思います。</p>	<p>○</p> <p>信頼関係を築き、十分納得していただける説明ができるように努めます。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御利用者と、コミュニケーションをはかり、信頼関係の構築に努めています。苦情窓口を設け提示しています。</p>	<p>○</p> <p>御利用者与会話師、信頼関係を築くよう努めております。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回状況報告師、おこずかい帳とお預かり現金残高の確認をしていただいております。</p>	<p>○</p> <p>職員の移動や新人職員の紹介はそのつど報告していきたいと思います。今後通信の発行も行っていきたいと思います。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族と信頼関係が築けるよう報告連絡を行っております。苦情窓口を設け、提示しております。</p>	<p>○</p> <p>今後行事の参加もお誘いしていきたいと思います。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回カンファレンスを行い、会社側からの通達を報告し、職員の意見を聞いております。</p>	<p>○</p> <p>意見や提案を反映できるよう管理者会議等で発言していきたいと思います。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>事前に職員間で調整できるよう声かけし、快く変更してくれております。</p>	<p>○</p> <p>できるだけ時間外にならないように工夫していきたい。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>を防ぐよう相談に乗り、働きやすい職場になるよう努めております。</p>	<p>○</p> <p>一人ひとりの職員を大切に思い楽しんで働ける職場になるよう意見の尊重をしている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	定期的な研修の計画がたてられています。	○ 今後も教育に力が入られるように、研修委員会がたちあげられています。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	地域の同業者との交流はほとんどなく、今後の課題だと感じています。	○ ホームの管理者や、職員により積極的な働きかけができるよう必要な情報を交換できるようにしていきたいと思えます。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	月1回の管理者会議や、ホーム長会議で意見を出し、必要な対応をしております。	○ 社内研修を通じて職員の思いをきいてもらい、会社のヘルプデスクで直接生の声を聞いてくれるシステムが始まりました。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	職員を短期間で評価することなく長いスパンで見守っております。	○ 面談を行い一人ひとりの評価をきちんとしてくれるようです。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	できるだけ、声かけし不安の軽減を図り、希望を聞くように努めております。	○ まだご利用以前の方との直接面談の経験がなく、今後できるだけ受け止められるように努めたいと思えます。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	受付に見えた御家族の重いをお聞きし、必ず記録にのこしております。	○ まだ相談から利用にいたることがなく、今後できうる限り受け止められるように、面談技術を学びます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その人の立場に建ち考えて生きたいと思います。	○	必要なサービスを提供できるような対応に努めたいと思います。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	何事も相談し、御家族や御利用者に納得していただけるように、職員全員で話し合い工夫しております。	○	ご利用以前に何度も面談し、より良い状態でご利用していただけるようにしたいと思います。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	御利用者とのコミュニケーションを大切にし、一緒になって結い意義内地に血が過ごせるように努めております。	○	全職員が御利用者の立場に立ち物事を判断して、その人らしさを失うことのないかわりを持っていきたいと思っています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御利用者を取り巻くすべてのご家族に信頼していただけるように、常に挨拶や声かけに心がけております。	○	今後家族会の開催もできるようにしていきたいと思っています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御家族の情報をできるだけ得て状況に応じた対応に努めたいと思います。	○	得られた情報はすべての職員が共有できるようにし、統一した対応に努めたいと思います。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの場所へのドライブや会話の中に話題としてとりいれております。	○	御家族の思いも踏まえて、外泊や外出をしていただいております。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクや行事など御利用者同士のコミュニケーションのバをおくもうけております。	○	御利用者同士の良い関係が保てるように職員が配慮していきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご利用時のお写真など思い出の品を御家族に送っております。次の施設の様子を伺いに訪れたり、様子を尋ねたりしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今の御利用者の思いを表出できるような声かけをしております。	○	御利用者の立場に立って物事を考えていきたいと思えます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族や御利用者から情報をできるだけ得て、より良いサービスができるように努めております。	○	より多くの情報を得られるように、御家族を含めたかかわりを深めていきたいと思えます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	残存機能を生かしたかかわりに努め、機能訓練目的のレクや体操を取り入れております。	○	介護員、看護師、ケアマネなど全職員の観察力を高めていきたいと思えます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	御利用者、御家族と話し合いはそのつど行い、職員間の意見交換をして、訪問マッサージ、委託医師などと相談しつつケアしています。が、なかなか介護計画に反映できておりません。	○	ケアカンを行い今後介護計画に反映させて生きたいと思えます。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化が生じたときケアの見直しは行っておりますが、新たな計画として立てておりません。	○	記録として残せるよう評価修正していきたいと思えます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	必要時見直しはおこなっておりますが、介護計画に記録として生かせておりません。	○	今後実践に伴い計画の修正をかけていきたいとおもいます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	認知症対応型協働生活介護の多機能性とは何を指しているのかが分かりません。どうお答えすればよいのでしょうか。		どうお答えすればよいのかが分かりません。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議の開催や、消防訓練、ボランティアの方々の行事参加を計画や実施しております。	○	地域の老人会との交流も図って生きたいと思います。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	福祉用具、訪問リハのみですが相談や、話し合いをおこなっております。	○	今後同業者の方々と意見交換や、情報収集ができるようにしていきたいと思います。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの交流はあまりなく、認定調査時におはなしするのみとなっております。	○	今後協働していけたらよいと思っております。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御利用者と御家族と委託医師との橋渡しや、信頼関係の構築を図るよう努めております。	○	今後も信頼関係が保たれるように努めたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	行動障害方利用者に危害を及ぼす可能性が考えられるときは、委託医師、御家族と話し合い対処しております。	○	今後もそのつど対応していきたいと思います。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師2名に必ず看護的な判断を仰ぐ体制になっております。	○	今後看護的な勉強会も開催していきたいと思います。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	御利用者入院時情報交換を行い、安心して退院できるよう連携をとっております。	○	今後も継続して連携していきたいと思います。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	まだ重度化された御利用者は見えませんが、ご高齢の為方針の確認の必要性は感じております。	○	早い段階で話し合いの機会を持ちたいと思います。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化を実感せず関わっておりましたが、今後高齢者の対応の検討が必要だと感じております。	○	早い段階で話し合いの機会を持ちたいと思います。
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退去に関わることはありませんでしたが、今後機会が生じた場合は十分に話し合いを持ち納得され、リスクの減少に努めたいと思います。	○	今後御利用者や御家族に負担のかからないように関わってゆきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>声かけに配慮し信頼関係の構築を図りたいと思います。</p>	○	情報の開示の意味を理解しつつ、事実のみを記録し、思い込みのない表現をしていきたいと思っています。
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>御利用者の思いを優先し、御利用者の立場に立った支援を継続していきたいと思っています。</p>	○	御利用者や御家族の立場で考えて支援の継続をしたいと思っています。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>御利用者の思いを踏まえつつ、共同作業を一緒に行っております。</p>	○	残存機能を生かしつつ、機能訓練につながる体操やレクを今後も工夫していきたいと思っています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>御利用者の行きつけの店は御家族にお願いし、希望される方は訪問利用に来ていただいております。</p>	○	着替えは御利用者の好みを確認し、一緒に準備しています。
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>御利用者とともに準備し、食事していますが、かたずけることは簡単なことのみ一緒に行っております。</p>	○	今後は、声かけしともに行っていきたいと思っています。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> <p>お酒を飲まれる方は少なく夏場のビールとお正月のおとそのみ提供しております。おやつは状態に合わせたものを手作りもしています。</p>	○	体重の増加や疾患を踏まえた対応を継続したいと思っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排便パターンを調べできるだけ下剤をつかわず、繊維質を多く取り入れ、水分がしっかりと取れるようにココアやコーヒーを提供しています。	○	起き掛けのコップ1杯の水の摂取を習慣ずけていきたいと思ひます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	できるだけ希望に沿うようにしておりますが、御利用者間での不満が生じないように配慮しています。	○	御利用者同士の不満が生じない工夫をしていきたいと思ひます。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	体調を踏まえつつ、昼間の休息時は短時間で離床を促す声かけをし、昼夜逆転をなくすようにしております。	○	気持ちのよいシーツの提供や、布団星など定期的に継続し、又昼間の活動性を高める工夫も行って生きたいと思ひます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事の役割や、気晴らしの散歩、買い物に誘うなど行っております。	○	御利用者一人ひとりに会った役割や、張り合いを持っていただくように工夫していきたいと思ひます。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分でお賽銭を上げたり、買い物をする機会を増やしております。	○	地域の中で生活している実感のわく工夫をしていきたいと思ひます。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気の悪い日はなかなか外出ができず、御利用に負担のかからない工夫が必要だと思っております。	○	足元の不安がない外出意欲のわく工夫をしていきたいと思ひます。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お天気の良い日にはできるだけドライブやおでかけをしています。	○	御家族とともに出かける機会がなく、今後検討し、実現していきたいと思ひます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時は御家族に確認を取りつつ支援させていただいております。	○	季節の便りを御利用者から御家族へ出せるような支援も行っていく予定です。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ゆっくりと話していただけるように居室で一緒にくつろいでいただいております。	○	家族会を計画し、開催していきたいと思います。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営理念にも掲げてあり、職員も抑制せず安全に留意しております。	○	新しい職員に対しても勉強会をしていきたいと思います。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の自動扉のリモコンは事務所の前に置き誰でも使用できる状態にしております。	○	夏場は玄関を開放し水を御利用者とまいたり、夕涼みをしたいと思います。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に御利用者の所在を明確にするよう職員同士の声かけをして安全に対する配慮をおこなっております。	○	勤務している全職員が2ユニットすべての御利用者の所在を把握できるように努めたいと思います。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物品は必ず職員とともに使用していただき過剰になり過ぎないように安全の配慮をしています。	○	見守り、声かけ、を徹底し危険の防止に努めたいと思います。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止のためのリスクアセスメントをし、話し合い検討しつつ、より良い方法を工夫し、事故防止に留意しております。	○	職員全員が危険に対してのきずきを深めてもらうように、ヒヤリハットの記録の習慣づけを継続したいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	カンファレンスで簡単な対処法は勉強会を行ったが、本格的な救急法の講習を施設で行っていただけるように検討していきたいと思います。	○	今後定期的に救急法の講習を受け実践に備えたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	市町村の災害マップを確認し、運営推進会議に働きかけを行いたいと思います。	○	定期的に非難訓練の開催を行っていききたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	想定できるリスクに関しては、事前に御家族と話し合い、工夫して自由で安全な暮らしの確保に努めております。	○	今後も継続していきたいと思います。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルサインの測定を朝と必要時行い、早期に体調の変化を捉えられるようにしております。異常時は早急に対処し、必ず御家族に相談報告をしております。	○	今後も早期に異常の発見ができるように心がけたいと思います。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師より職員全員に薬の効果、副作用、注意事項などを申し送り、何度も確認する事により誤薬の防止に努めております	○	今後、薬剤師の方による薬の勉強会の開催も検討しております。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	できるだけ下剤を使用せず繊維質や水分補給に努め、活動性を高めるレクや体操もとりいれ、入浴時に腹部マッサージも行っております。	○	起き掛けのコップ1杯の水の摂取を習慣づけていききたいと思います。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアをしていただき、必ず職員が付き添い必要な支援を行っております。	○	今後も継続していきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	○	施設の畑の野菜を収穫し、今後も食卓に彩を添えていきたいと思います。
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	○	今後は、勉強会も行っていきたいと思います。
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	○	食中毒の危険な季節は生野菜もさっと湯通しをし、今後も注意していきたいと思います。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1) 居心地のよい環境づくり			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	○	挨拶を忘れずに行い明るい雰囲気施設の施設を目指していきたいとおもいます。
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	今後も季節感のある、居心地の良い工夫をしていきたいとおもいます。
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	○	ユニットから直接外へ出てくつろぐスペースを増やしていきたいと考えております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御利用者や御家族で使い慣れたものや、好みのものを考えられて、居心地の良いお部屋になっております。	○	今後もくつろげる空間の維持に努めたいと思います。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	必要時御家族に相談し、見えないところに消臭剤を設置し、換気や掃除をまめにおこない、ポータブル使用時は、速やかに処理をおこなっております。	○	必要時御家族に確認し、寝具の洗濯も行っていきたいと思っております。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に歩行のできる環境を維持し、自立に向け役割や協働活動を行っております。	○	転倒などの危険を察知し安全な環境を整え、不安なく過ごしていただけるよう配慮したいと思います。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	御利用者ひとりひとりにあう言葉掛けをして納得していただきつつ支援を継続し、現状の維持、意欲の向上を図り、いつまでもお元気にすごしていただけるようにつとめています。	○	ご自分でできることはしていただきつつ、安全に配慮したかわりを継続したいと思います。
87 ○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関内外のいすでくつろいだり、花壇の花の植え替えや畑の野菜の収穫、施設周囲の散歩を楽しんでいただいております。	○	外でのくつろぎスペースを増やして生きたいと思っております。

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

とにかく毎日笑顔で楽しくお元気に暮らしていただいております。その人らしく、生き生きと最後まで過ごしていただきたいと思っています。御利用者も、職員も良い表情